

《外国語活動における各学年の特徴》

- 3年 外国語の言語について興味をもち、学習した表現を積極的に発話しようとする児童が多い。
- 4年 外国語の言語について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が多い。

育てたい力（課題）

- 3年 学習した外国語の表現を用いて、コミュニケーションを図る力
- 4年 学習した外国語の表現を用いて、積極的にコミュニケーションを図る力

育てたい力（課題）

- 5年 英語の特徴やきまりについて理解し、すすんで表現したり伝え合ったりする力
- 6年 習得した言葉や文の構造を理解し、すすんでコミュニケーションを図り、活用する力

《外国語科における各学年の特徴》

- 5年 外国語の言語や文化について興味をもち、学習したことを活用して、他者とコミュニケーションを図ろうとする児童が多い。一方、英語での発表に自信がなく、消極的な児童もいる。
- 6年 外国語の言語や文化への関心が高く、学習したことを活用して、コミュニケーションを図ろうとする児童が多い。

☆授業改善の具体策☆

- ・ALT等（ネイティブスピーカー）や友達との体験的なコミュニケーションの重視
- ・簡単な語句や基本的な表現について、音声や文字による掲示
- ・児童にとって身近なコミュニケーションの場面の設定
- ・ICT機器の有効活用による視覚化

《知識・技能》

- 3年 音声やリズムなどに慣れ親しめるように、動画や歌、チャンツ、ALTと関わる活動を設定する。
- 4年 基本的な表現に慣れ親しみ、学習した語句や表現をやり取りの中で活用できるように、動画や歌、チャンツを活用し、楽しみながら繰り返し練習をする活動を設定する。
- 5年 習得した言葉や表現を理解し、コミュニケーションで活用する基礎的な技能を身に付けられるようにするために、ICT機器を使用して提示されたモデル文を書き写したり、読んだりする活動を設定する。
- 6年 習得した言葉や文の構造を理解し、コミュニケーションで活用する技能を身に付けられるようにするために、ICT機器を使用して提示されたモデル文を書き写したり、読んだりする活動を設定する。

《思考・判断・表現》

- 3年 慣れ親しんだ語句や基本的な表現を活用し、身の回りの物や身近で簡単な事項について表現する力を育てるために、ペアやグループでの言語活動を取り入れる。
- 4年 慣れ親しんだ語句や基本的な表現を活用し、身近で簡単な事項について、自分の考えや気持ちを伝え合う力を育てるために、ペアやグループでの言語活動を取り入れる。
- 5年 簡単な事柄について、目的に合った会話をし、自分の考えや気持ちを伝え合う力を育てるために、自分の考えを明確にして相手に伝える活動を設定する。
- 6年 簡単な事柄について、目的に合った会話をしたり書いたりして、自分の考えや気持ちを伝え合う力を育てるために、自分の考えを明確にして相手に伝える活動を設定する。

《学びに向かう力》

- 3年 外国語を使って自らコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるために、児童にとって身近なコミュニケーションの場面を設定する。
- 4年 日本と外国の文化の違いに気付き、外国語を使って、自らコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるために、児童にとって身近なコミュニケーションの場面を設定する。
- 5年 外国の文化に興味をもち、習った表現を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるために、単元のゴールや言語活動を導入時に明確に提示する。
- 6年 外国の文化に興味をもち、習った表現を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるために、単元のゴールや言語活動を導入時に明確に提示する。